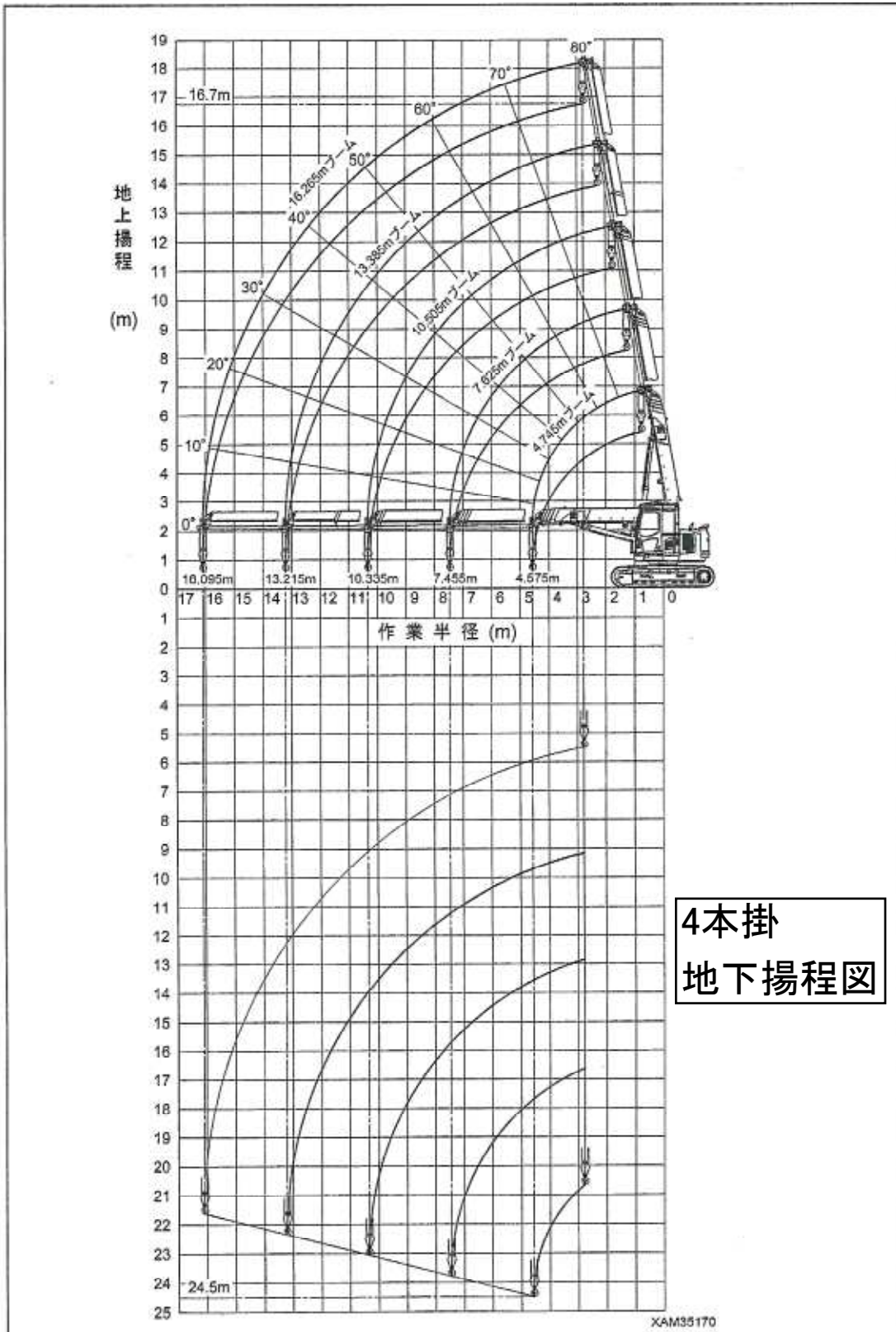


LC1385M-8地下揚程の概算数値

ブーム	1段	2段	3段	4段	5段
4本掛け	24.5	23.6	23.0	22.3	21.6
2本掛け	51.0	49.0	48.0	47.0	45.0
1本掛け	104.0	101.0	98.0	95.0	92.0

作業半径／揚程図

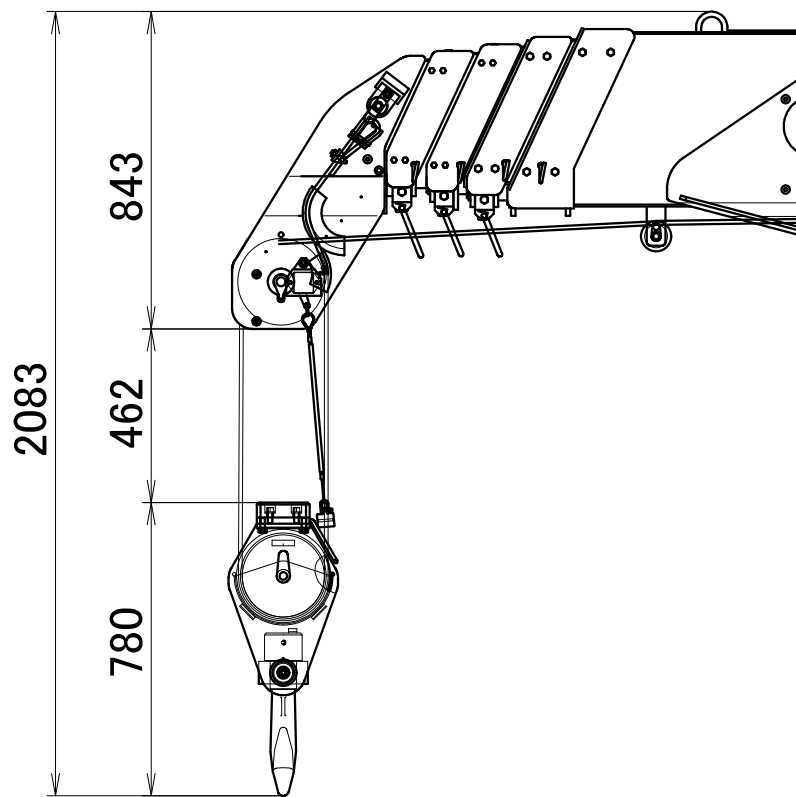
条件、ブーム水平、単位はm



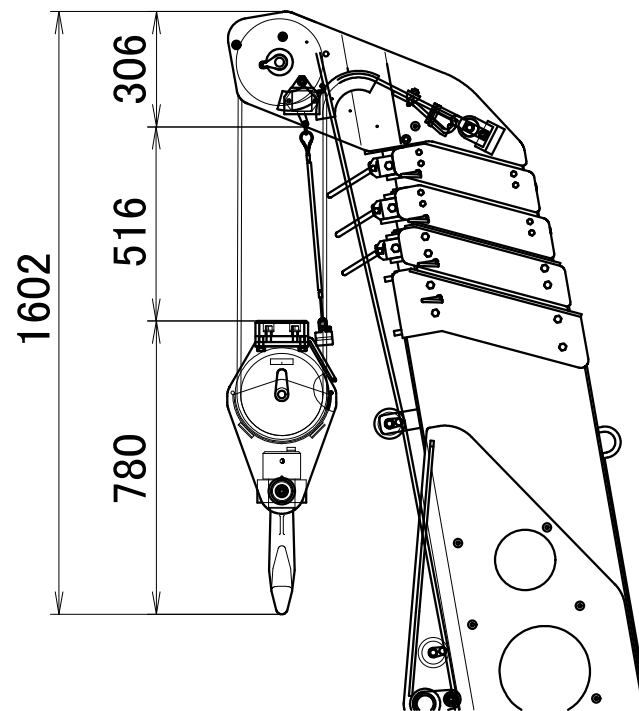
4本掛
地下揚程図

LC1385M-8 ブーム先端寸法図

ブーム角度0°

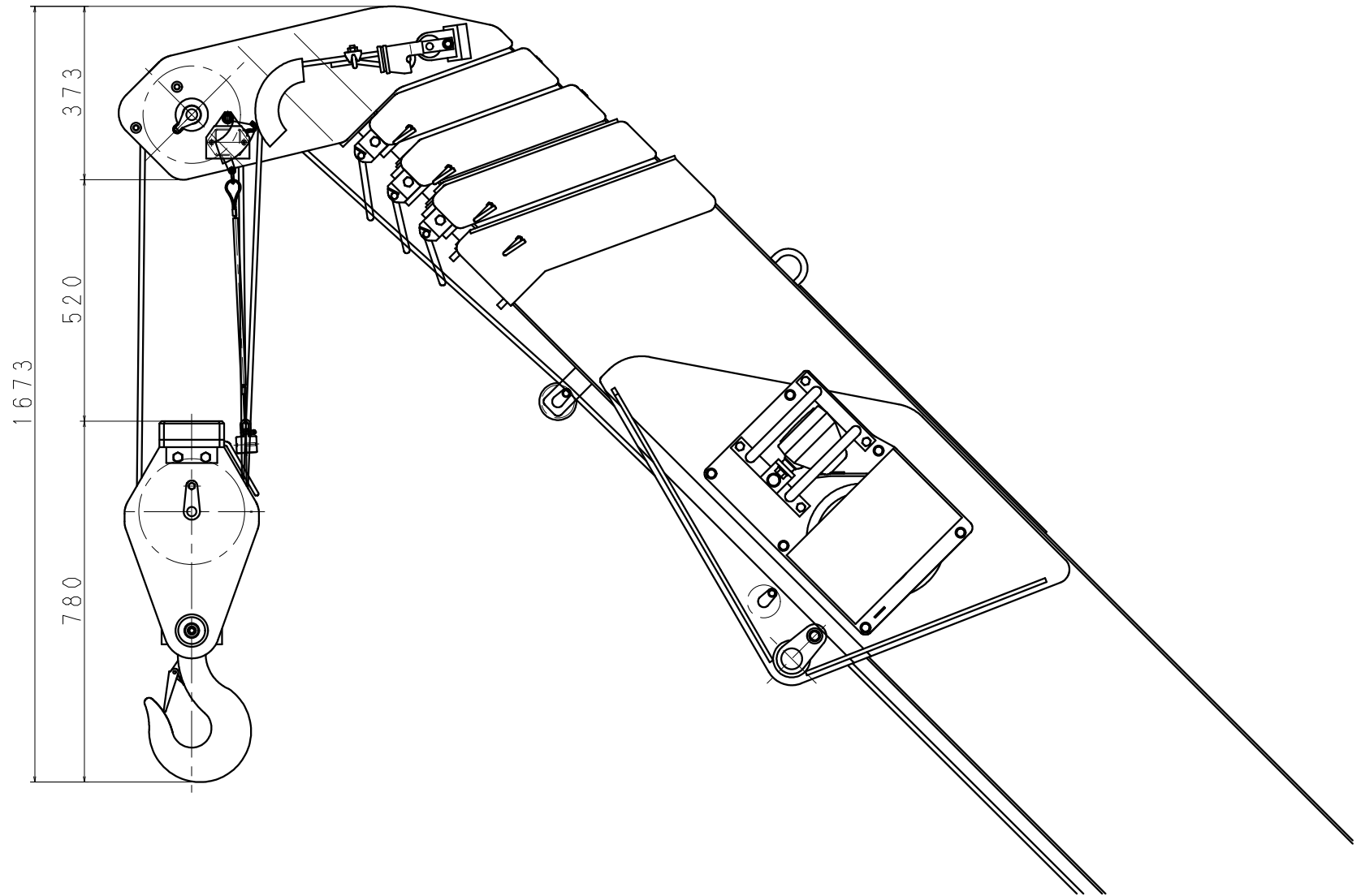


ブーム角度80°



LC1385M-8 ブーム先端寸法図

ブーム角度45°



5. 2 機械の吊り上げ方法

5. 2. 1 ブームを伏せた状態での吊り上げ方法

⚠ 危険

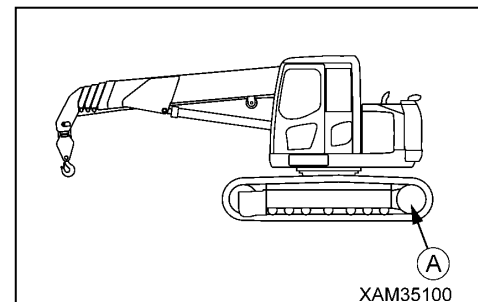
- ・本機械の寸法、質量は、「諸元編 1. 主要諸元」の項を参照してください。
- ・クレーンを使用して吊り上げ作業をする人は、クレーンの運転資格を取得した人でなければいけません。
- ・作業員を機械に乗せた状態で、吊り上げ作業を行ってはいけません。
- ・吊り上げに使用するワイヤロープやシャックル等の吊り具は、機械の質量に対して、十分強度のあるものを使用してください。
- ・吊り上げるときは、機械を水平状態にしてください。
- ・吊り上げ作業を行うときは、ロックレバーをロック位置にして、機械が不意に動かないようにしてください。
- ・吊り上げた機械の下や周辺には、絶対に入らないでください。
- ・以下の手順で示す方法、吊り具の取付け位置（機械前方からトラックローラの1番目と2番目、後方から1番目と2番目の間に玉掛け用ワイヤロープを通す）以外で、絶対に機械を吊り上げてはいけません。やむを得ず、他の方法で機械を吊り上げる必要がある場合は、当社または当社販売サービス店に相談してください。

アドバイス

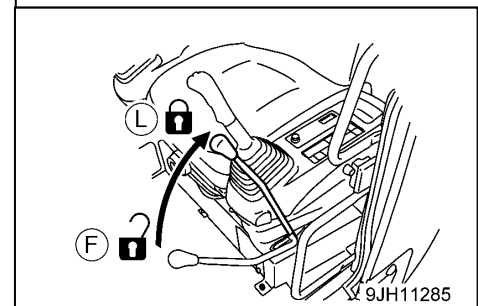
- ・機械を吊り上げるときは、専用の吊り具を使用し、同じ規格のワイヤロープを2本使用してください。また、機械を吊り上げる際は、玉掛け用ワイヤロープが機械本体に接触しないようにしてください。
 - ・ワイヤロープ：破断荷重 24.5トン以上、JIS規格 6×37 B種 φ22.4×8.5m以上
 - ・シャックル：使用荷重 13.0トン以上、JIS規格 SAまたはSBシャックル 呼び46
- ・ブームを伏せた状態で吊り上げるときは、必ずフックブロックを簡易格納位置（ブーム先端）に格納してください。詳細は、「操作編 3. 7 機械の走行姿勢」の項を参照してください。

機械を吊り上げるときは、地盤の堅い平坦な場所で行ってください。

1. 機械を右図のように「走行姿勢」にしてください。

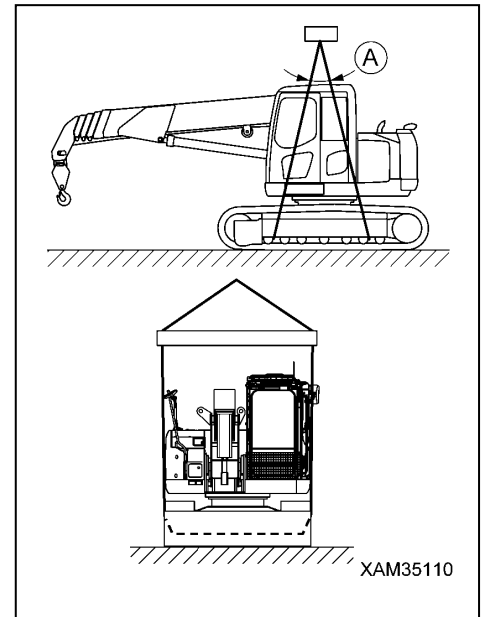


2. ロックレバーを確実にロック位置(L)にしてください。
3. エンジンを停止して、スタータスイッチのキーを抜き取ってください。運転席周りに何も無いことを確認し、機械から降りてください。
4. すべてのドア、窓、カバーを閉じてください。
ロック付ドア、カバー、キャップは、施錠してください。



5. 機械前方からトラックローラの1番目と2番目、後方から1番目と2番目の間に玉掛け用ワイヤロープを通してください。
6. ワイヤロープと機械の間に添え木をかませて、ロープと機械の損傷を防止してください。
7. 玉掛け用ワイヤロープの吊り角度を30~40度にして、ゆっくりと吊り上げてください。

補足説明
吊り上げた直後（地切り）、一旦停止して吊り具の状態や吊り姿勢を確認してください。



5. 2. 2 ブームを起こした状態での吊り上げ方法

⚠ 危険

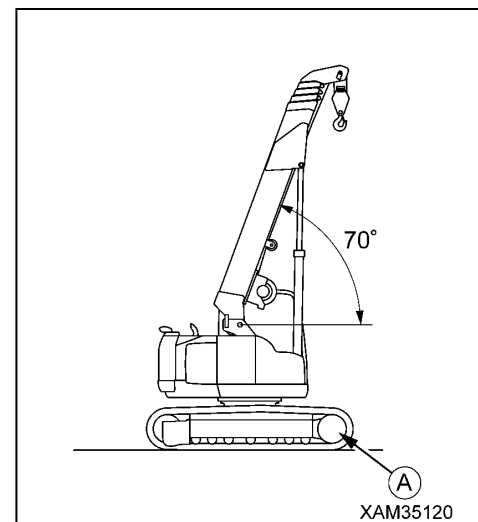
- ・本機械の寸法、質量は、「諸元編 1. 主要諸元」の項を参照してください。
- ・クレーンを使用して吊り上げ作業をする人は、クレーンの運転資格を取得した人でなければいけません。
- ・作業員を機械に乗せた状態で、吊り上げ作業を行ってはいけません。
- ・吊り上げに使用するワイヤロープやシャックル等の吊り具は、機械の質量に対して、十分強度のあるものを使用してください。
- ・吊り上げるときは、機械を水平状態にしてください。
- ・吊り上げ作業を行うときは、ロックレバーをロック位置にして、機械が不意に動かないようにしてください。
- ・吊り上げた機械の下や周辺には、絶対に入らないでください。
- ・以下の手順で示す方法、吊り具の取付け位置（クレーンフレーム部左右2箇所）以外で、絶対に機械を吊り上げてはいけません。やむを得ず、他の方法で機械を吊り上げる必要がある場合は、当社または当社販売サービス店に相談してください。

アドバイス

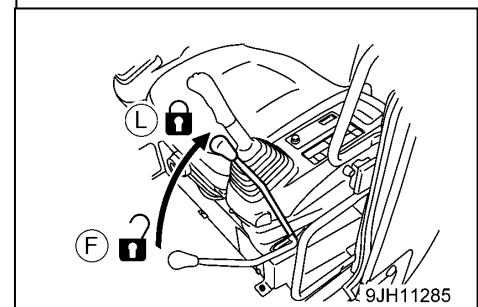
- ・機械を吊り上げるときは、同じ規格の玉掛け用ワイヤロープを2本、シャックルを2個使用してください。
 - ・ワイヤロープ：破断荷重 75.7トン以上、JIS規格 6×37 A種またはB種 φ37.5×6.9m以上
 - ・シャックル：使用荷重 13.0トン以上、JIS規格 SAまたはSBシャックル 呼び46
- ・ブームを起こした状態で吊り上げるときは、必ずフックブロックを簡易格納位置に格納してください。詳細は、「操作編 3.7 機械の走行姿勢」の項を参照してください。

機械を吊り上げるときは、地盤の堅い平坦な場所で行う手順で行ってください。

1. ブームを全縮して70度まで起し、フックブロックを簡易格納してください。
2. スプロケット(A)が機械前方になるように、上部旋回体を旋回させてください。



3. ロックレバーを確実にロック位置(L)にしてください。
4. エンジンを停止して、スタータスイッチのキーを抜き取ってください。運転席周りに何も無いことを確認し、機械から降りてください。
5. すべてのドア、窓、カバーを閉じてください。ロック付ドア、カバー、キャップは、施錠してください。



6. クレーンフレーム部の左右2箇所にシャックルを取り付け、玉掛け用ワイヤロープを掛けてください。

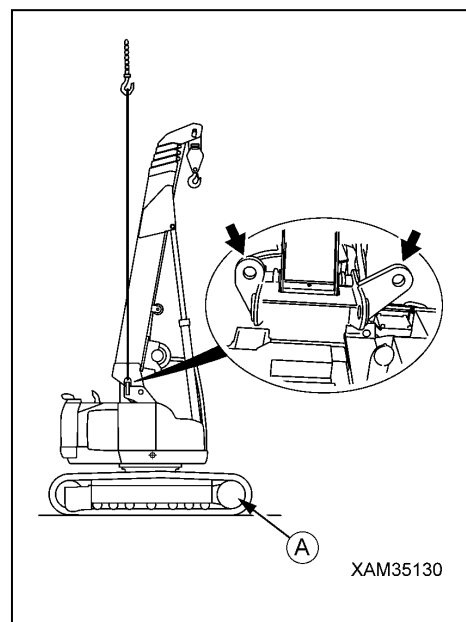
補足説明

この際、玉掛け用ワイヤロープと機体が接触する部分に当て物をしてから、吊り上げてください。

7. 機械をゆっくりと吊り上げてください。

補足説明

- ・吊り上げた直後（地切り）、一旦停止して吊り具の状態や吊り姿勢を確認してください。
- ・起伏シリンダヘッド側の油圧回路の漏れによる姿勢の変化がないか確認してください。
- ・機体を吊り上げると、後方に約3度、運転席側に約3度傾斜します。傾斜角度は、ブーム角度および燃料の残量によって多少変わります。

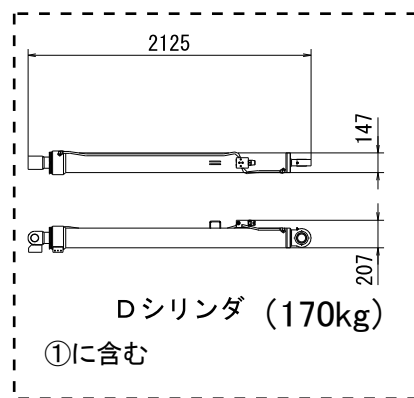
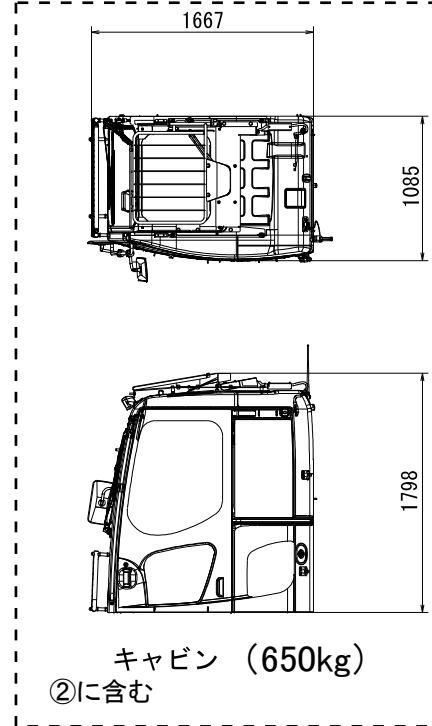
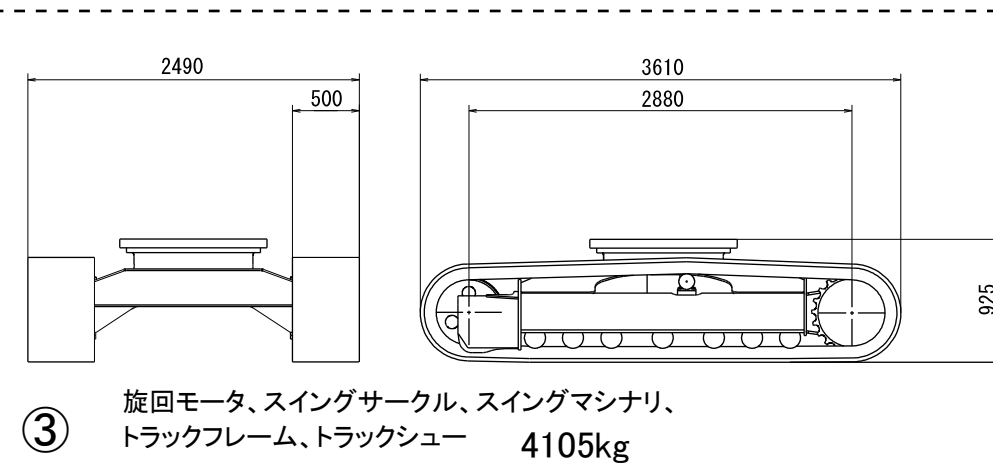
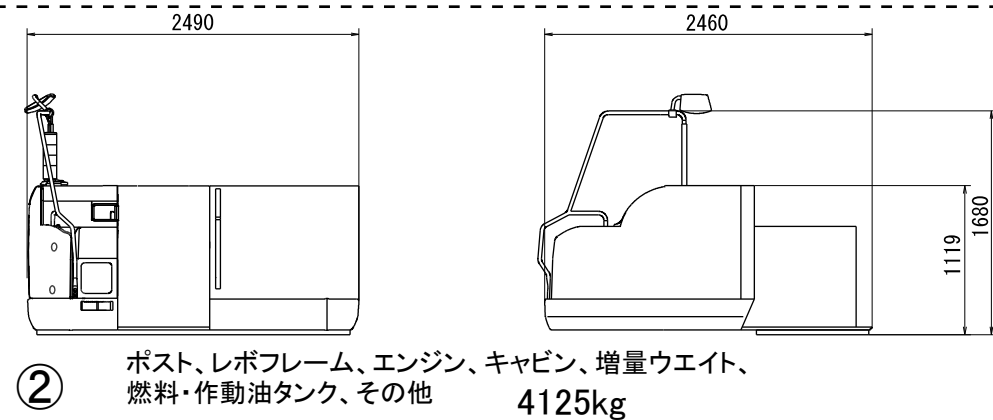
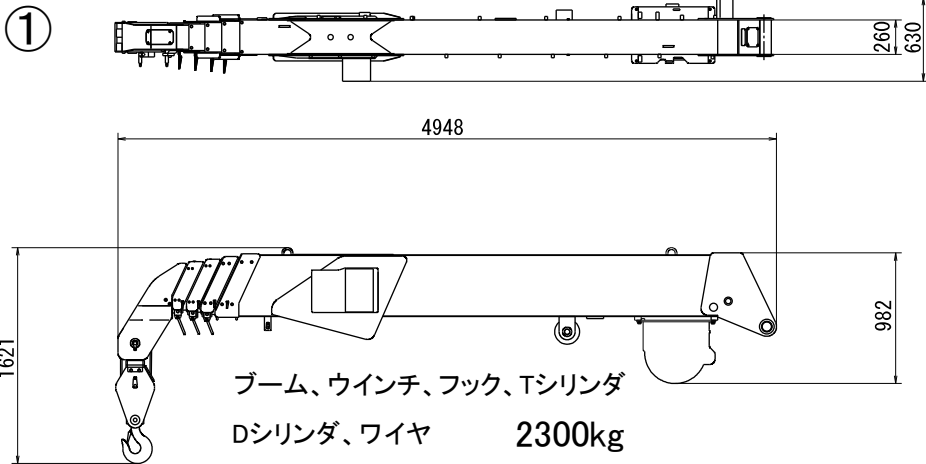


5.3 輸送時の注意

⚠ 警告

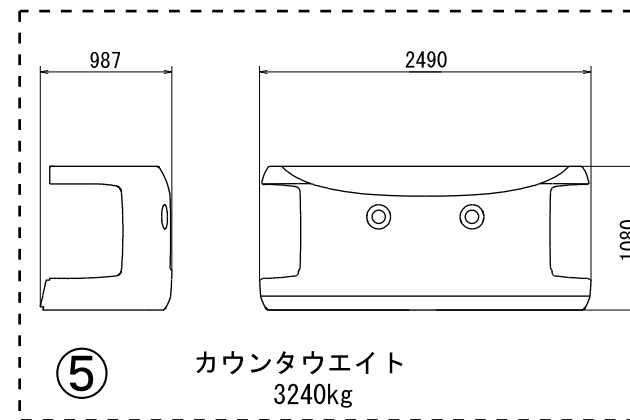
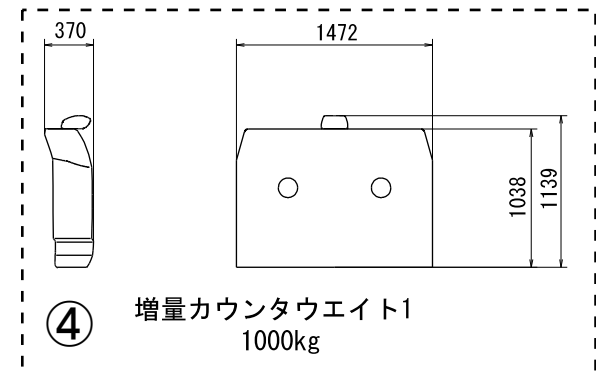
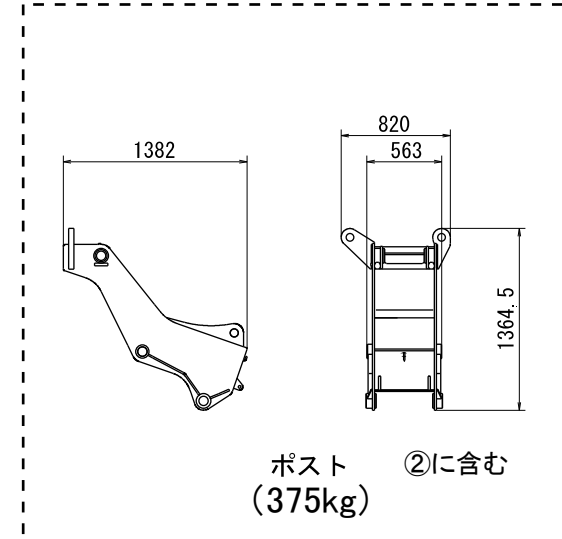
輸送路は、道幅・高さ・質量(重量)を考慮して決定してください。

- ・輸送するときは、各関係法令を遵守して輸送してください。
 - ・道路交通法、道路法（車両制限令）、道路運送車両法（保安基準）、各地の条例等
- ・通行経路の道幅、橋桁、架線の高さ、重量制限および交通規制などについて事前調査を行い、トレーラなどで機械を輸送する場合、問題がないかを十分検討してください。
- ・場合により、関係官庁などの許可を得たり、分解して輸送するなどの対応が必要となることがあります。輸送業者に確認の上、輸送してください。
- ・分解輸送については、当社または当社販売サービス店に相談してください。



①+②+③+④+⑤

機械総重量 : 14770kg



LC1385M-8 分割重量